

当院で行っている新型コロナウイルス感染対策

1. 新型コロナウイルス感染は、はじめに充血が生じる事があるため、目の赤い方には、発熱や風邪の症状、2週間以内の海外渡航歴をお聞きしています。

もし4日以上発熱や、流行地域への2週間以内の渡航歴がある場合には、先に保健所への相談をお願いしています。

2. 院内入り口近くに、アルコールジェル消毒剤を設置しています。

アルコール消毒剤の入荷見込みがないため、在庫がなくなりましたら、患者様にも手洗いをお願いすることになります。

3. 咳やくしゃみのある方には、マスクの装着をお願いします。花粉症の時期ですから、くしゃみが出る方も多いでしょう。マスクが品薄となっておりますから、咳エチケットについてもお願いします。

咳エチケット違反してませんか？

咳やくしゃみを手でおさえる



咳やくしゃみを手でおさえると、その手にウイルスが付着します。ドアノブなどを介して他の人に病気をうつす可能性があります。

何もせずに咳やくしゃみをする



咳やくしゃみをするとき、しぶきが2mほど飛びます。しぶきには病原体が含まれている可能性があります。他の人に病気をうつす可能性があります。

他人への感染を防ぐため、咳エチケットを行きましょう。

3つの咳エチケット 電車や職場、学校など人が集まるところでやろう

① マスクがない時



① マスクを着用する
(口・鼻を覆う)

鼻から顎までを覆い、隙間がないようにつけましょう。



② ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う

ティッシュ:使ったらすぐにゴミ箱に捨てましょう。
ハンカチ:使ったらなるべく早く洗いましょう。

① とっさの時



③ 袖で口・鼻を覆う

マスクやティッシュ・ハンカチが使えない時は、袖や上着の内側で口・鼻を覆いましょう。

こまめに手を洗うことでも病原体が拡がらないようにすることができます。

咳エチケット解説

厚生労働省 咳エチケット



バーコード読み取り機能付き携帯電話もしくはスマートフォンでご利用になれます。



ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare
© 徳山剛・講談社 / 「選挙の巨人」製作委員会

4. 新型コロナウイルスは、室内に多数の人が集まると感染しやすいといわれています。

寒い時期のため、ドアを開けての換気はなかなか難しいため、空気清浄機を待合室、検査室、診察室に合計3台設置し、フル回転させています。

また待合室の椅子の数を少し減らしました。

出来るだけ間隔をあけて座ってください。

廊下にも椅子を設置しています。

受付後、外出は可能ですし、廊下でお待ち頂いても良いです。

受付スタッフにお声をかけて下さい。

5. 電話再診について

緑内障や白内障、抗アレルギー薬、ドライアイなど慢性疾患と医師が判断した場合は、電話で薬の処方箋を発行します。

3ヶ月以内に受診している方を対象として考えています。

お薬手帳などを準備してから、電話をして下さい。

3ヶ月以上受診されていない方、症状が変化している方は受診をお願いします。

6. 不特定多数の方が触るドアノブ、受付カウンター、手摺りをアルコールなどで消毒をしています。

開院以来、継続しておりますが、検査機器は、検査の度に額や顎などが触れる部位をアルコールなどで消毒をしています。

処置に使用する器具などは、オートクレーブ(高圧蒸気滅菌器)にて殺菌消毒をしています。

7. スタッフは、毎日検温をし、丁寧な手洗いを励行しています。医師、検査員は必ずマスクを装着し、感染予防に心がけています。

体調が悪いスタッフが生じた場合には、直ぐに帰宅するように周知しています。

以上が現在、行っている対策です。

不急と判断された場合には、検査・診察の延期を承っています。ご遠慮なく連絡して下さい。

この厳しい時期を乗り切って、健康で過ごされますようにお互いに気をつけましょう

2020年3月3日

よしこ眼科クリニック

院長 赤坂佳子